



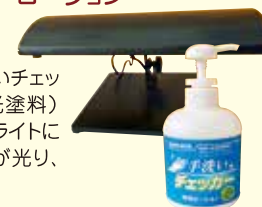
# 手の汚れは どれくらい広がるの？

見た目はきれいな手でも目に見えない汚れを持ち帰っていることがあります。手洗いをしなかった場合、手の汚れはどれくらい広がるのでしょうか？ また、手指から顔にどれくらい汚れは移るのでしょうか？ 新型コロナウイルス感染症対策で手洗いの重要性が挙げられる中、商品検査センター「りんご館」で汚れの広がりについて実験しました。

## 実験で使うのは

- 手洗いチェッカーローション
- ブラックライト

汚れに見立てた手洗いチェッカーローション（蛍光塗料）を手に塗り、ブラックライトにかざすとローションが光り、汚れを確認できます。



## 調査② 手から顔への汚れの付着

### 【調査概要】

汚れた手で目や鼻、口などを触ると、粘膜の部分から体の中に菌が侵入してしまう可能性があります。そこで、2人に汚れに見立てた手洗いチェッカーローションを手に塗っていつも通り過ごしてもらい、30分後にブラックライトを当てて、顔のどこを触ったのか、何回顔を触ったのかを調査しました。

ローションが付いた手で触った耳の一例



### 30分後…

2人の様子を目視で観察し、顔全体にブラックライトを当ててみると…

### Aさんの場合（女性）

30分の間に顔の周りを15回触っていました。特に触った回数が多かったのは髪の毛で、耳や額にもローションが付いていました。髪の毛を耳にかけたときや前髪を触ったときに付いたようです。

触った  
回数・箇所



### Bさんの場合（男性）

30分の間に顔の周りを13回触っていました。Bさんはマスクを触る回数も多く、マスクの鼻の部分やゴムの部分にもローションが付着していることがわかりました。

触った  
回数・箇所



### 【結果】

人は1時間に平均23回顔を触るという研究結果※がありますが、今回の調査でも同様な結果になりました。

### POINT!

マスクや髪に付着した汚れ。それらを触った手で目や鼻、口などの粘膜に触れると、手洗いや消毒をした意味がなくなる可能性も。外出先では顔を触る回数を減らすことを意識しましょう。

※参考文献

Face touching: a frequent habit that has implications for hand hygiene. (「顔への接触:手指衛生と関係する頻繁な習慣」)

https://www.yoshida-pharm.com/2016/rv\_2003\_02/

## まとめ

今回、調査をして見えない汚れがどのように広がっていくのかがよくわかりました。普段、気を付けていても無意識のうちに物や顔を触っていることがたくさんあります。一方で菌やウイルスに敏感になりすぎて窮屈な生活になるのも避けたいですね。そのために帰宅後すぐに手洗いをし、菌やウイルスを広げないことが大切です。

エフコープの子育て情報サイト「CHEER!days」では正しい手洗いの方法も紹介しています。

あわせてチェックしてみてください。



微生物検査担当 宮田 有規

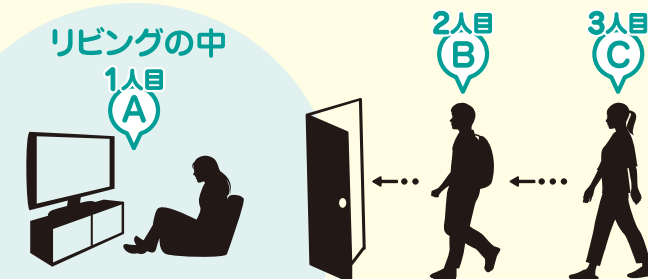


## 調査① 手洗いをしなかった場合の汚れの広がり

### 【調査概要】

外出先から戻ってきて手洗いをしなかった場合、家の中で汚れはどれくらい広がるのでしょうか？ 実験で登場するのは3人。元々リビングでくつろいでいた1人目(A)と、外出先から戻ってきた2人目(B)、別の部屋から移動してきた3人目(C)がリビングに集まります。

### リビングの中



(B)のみ汚れに見立てたローションを手に付けて（手を洗っていない状態）リビングに入ります。その後(C)が入室した時点から実験スタート。いつも通り行動してもらい、30分後にブラックライトを当ててローションの広がりを確認しました。

### Start

手洗いチェッカーローションを付けた(B)の手



### 30分後…

ブラックライトを当ててみると…



ドアノブ

冷蔵庫

スイッチ

### 【結果】

ローションは、(B)が触ったすべての場所に付いていました。それにより、同じドアノブを触った(C)の手にも付着。さらに、(B)と(C)が触ったテーブル、冷蔵庫、電子レンジ、リモコン、電気のスイッチなどを(A)も触ったことで、全員の手に付着しました。今回の実験で、たった1人の手の汚れが同居人を介して家中に広がってしまうことがわかりました。



(C)の手



(A)の手

### CHECK!

イスの背もたれや水栓レバー、アルコールスプレーのトリガー部分にもローションが付いていました。盲点になりがちな場所の掃除も心掛けましょう。

ローションが付着した  
イスの背もたれ

